

発表資料

平成25年4月23日



相鉄・JR直通線事業に関するお知らせ

相鉄・JR直通線事業につきましては、平成27年度開業を目指して事業を進めてまいりましたが、東海道貨物線との接続部の工事の遅れなどにより開業時期は平成30年度内、あわせて建設費は約683億円から約782億円となる見通しとなりました。

これに伴い、今後事業の再評価など必要な手続きを進めてまいります。

事業を進めるにあたっては、可能な限りの工期短縮とコスト縮減に取り組んでまいる所存ですので、引続き本事業へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

※この資料は、次の記者クラブにお届けしています。
国土交通記者会、建設専門誌記者会、交通運輸記者会、
ときわクラブ、神奈川県政記者クラブ、横浜市政記者会、
横浜経済記者クラブ

問い合わせ先
鉄道・運輸機構（広報課）
電話 045-222-9101

開業時期及び建設費について

【開業時期について】

横浜羽沢駅構内での営業線の配線切り替えをはじめ、本工事に伴い必要となる作業を、旅客・貨物を含めて列車の運行していない短い作業時間帯で工事を実施せざるを得ないことなどから、工期短縮の工夫を最大限実施したとしても、開業時期が平成30年度内になる見通しとなりました。

【建設費について】

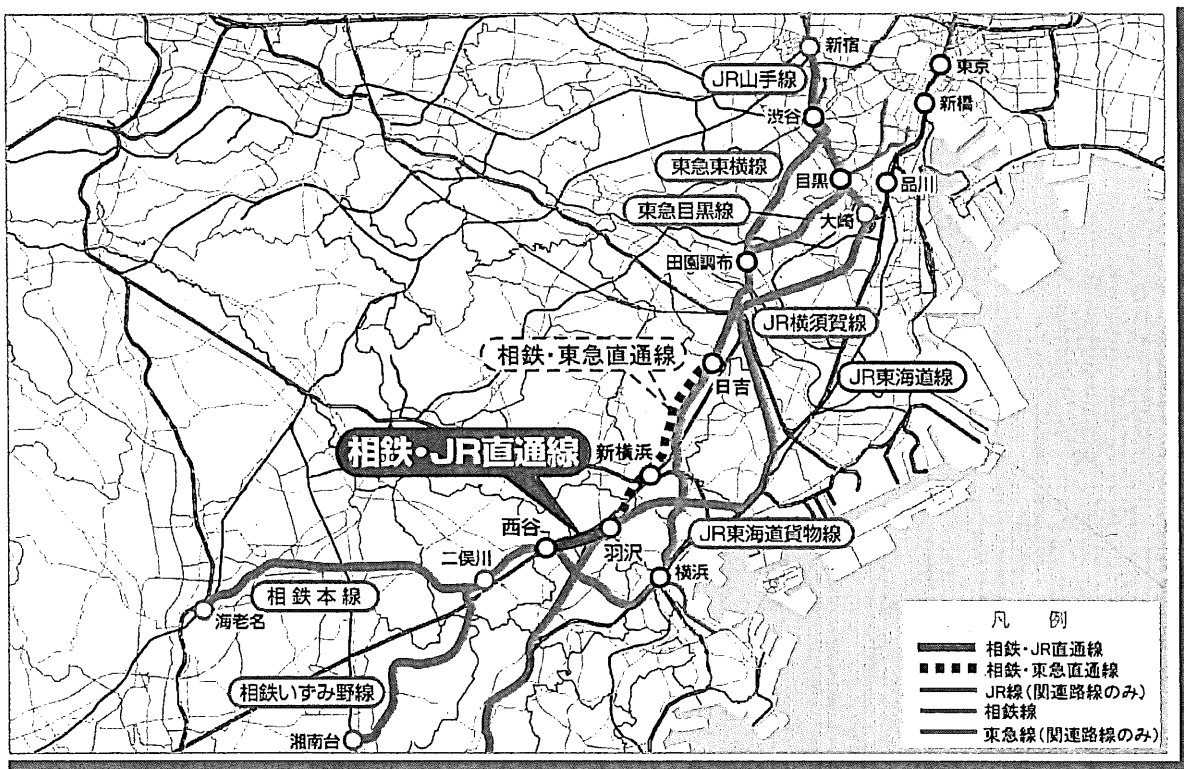
平成21年10月の工事施行認可以降、鋭意効率的な工事等を実施してきたところですが、当初想定し得なかった事柄として、①関係者協議による計画変更、②地質調査の結果を踏まえた工法変更、③法令・基準等の改正などがあり、建設費が約782億円になる見通しとなりました。

都市鉄道利便増進事業
相鉄・JR直通線の概要
 (西谷駅～羽沢駅(仮称))

計画のあらまし

相鉄・JR直通線は、神奈川東部方面線の機能の一部として、相鉄本線西谷駅から東海道貨物線横浜羽沢駅付近までの区間に連絡線を建設するものです。

この相鉄・JR直通線の整備により、横浜市西部及び神奈川県央部と東京都心部の地域間の速達性が向上し、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化が図られるとともに、横浜駅やJR東海道線等の既設路線の混雑緩和や乗換回数の減少、地域の活性化等に寄与するものです。



13-03

平成25年4月23日

相鉄・JR直通線事業に関するお知らせ

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道(株) (本社・横浜市西区、社長・小澤重男) では、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (以下「鉄道・運輸機構」) から、相鉄・JR直通線事業の開業時期の見通しの変更に関する通知を受けましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

相鉄・JR直通線は、「都市鉄道等利便増進法」に基づき、相鉄線西谷駅付近 (横浜市保土ヶ谷区) とJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近 (横浜市神奈川区) 間に連絡線 (約2.7km) を新設し、この連絡線を利用して相鉄線とJR線が相互直通運転を行うものです。鉄道・運輸機構が整備主体として平成27年度開業を目指して連絡線の整備を行い、営業主体である当社は、開業後、施設使用料を鉄道・運輸機構に支払って営業を行います。

今般、整備主体である鉄道・運輸機構からJR東海道貨物線との接続部の工事の遅れなどにより、開業時期の見通しを平成30年度に変更するとの通知がありましたのでお知らせいたします。

変更前 平成27年度 (予定)

変更後 平成30年度 (予定)

以上

なお本日、この資料は次の記者クラブにお届けしています。

○兜倶楽部 ○国土交通記者会 ○ときわクラブ

○神奈川県政記者クラブ ○横浜市政記者会 ○横浜経済記者クラブ

本件に関するお問い合わせは

相鉄ビジネスサービス(株)総務広報サービス部 (広報担当) TEL045-319-2057 平嶋・中根